

平成 30 年度

事業報告書

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

平成 30 年度事業報告

急速な高齢化の進展、疾病構造の変化等、県民の健康を取り巻く環境は大きく変化し、健康づくりに対するニーズも、より一層高度化、多様化する中、兵庫県では、「健康づくり推進条例」や「受動喫煙の防止等に関する条例」の制定のほか、企業従業員やその家族を対象とした健康づくりを推進するため「健康づくりチャレンジ企業」制度を創設し、登録企業を支援する「健康づくりサポート企業」との協定締結を行うなど、県民の健康づくりを社会全体で推進する取り組みを強化している。

当財団においては、公益財団法人としての役割をより積極的に果たしていくため、保健医療を取り巻く動向や県民の健康ニーズを的確に捉えつつ、「県民の総合的な健康づくりのパートナー」を目指して、兵庫県や関係団体との連携の下、次の三つを大きな柱として事業を推進した。

また、経営基盤を確たるものにするため、「兵庫県健康財団経営計画」に基づき、経営改善を推進した。

1 健康づくり実践活動の支援

個人の努力とあわせて社会全体で健康づくりを支援する「健康ひょうご 21 県民運動」について、「食の健康」「からだの健康」を重点活動目標に、「たばこ対策」「歯・口腔の健康」「こころの健康」等を活動目標に掲げ、参画団体、推進員等との協働により、健康づくりの基盤となる「健康チェック」の実践、生活習慣の見直し等を通じた健康づくり運動を全県内で展開したほか、「健康づくり推進員活動支援ガイド」や「健康ひょうご 21 県民運動ポータルサイト」の活用を通して健康づくり推進員の活動の実践と交流を促進するとともに、県民への健康づくり情報の提供や地域の健康づくり運動の拡充を図った。

また、スマートフォン等で利用できる健康増進プログラムを土台とした健康チェックツールを通じてセルフチェックの促進を支援したほか、健康課題を抽出する「ひょうご健康づくり支援システム」のプログラム開発、企業と協働した従業員や家族の健康づくり及び幼稚園、保育園等と連携した幼児と保護者等の健康づくりに取り組み、県民総ぐるみの健康づくりを推進した。

2 疾病予防等の普及啓発

県民の健康づくりに関する有用な情報や、財団の事業内容を幅広く紹介するため、広報紙「プレベ」やホームページによる広報を行ったほか、生活習慣病、結核、がん等の予防をはじめ、母子保健、臓器移植や献血に関する正しい知識の普及と意識

の向上を目的として、講演会やセミナーの開催、ポスター掲示や街頭活動によるキャンペーン事業等の啓発活動を行うとともに、健康づくりや疾病予防の各分野における功労者の表彰を行った。

また、健診、健康づくりに携わる専門技術者に対する技術講習会の開催や、がん等の医療に携わる専門職が行う研究の奨励を行い、医療技術の向上の支援に努めた。

3 健診・生活習慣等改善指導の実施及び調査研究の推進

受診者の視点に立った「安全・安心でかつサービスの行き届いた健康診断」を提供するため、健診精度の維持・向上に努めつつ、県内全域の地域・職域・学校において幅広い年齢層を対象に健診・保健指導事業を実施するとともに、企業の従業員を対象としたストレスチェック及びその結果に基づく評価を実施した。

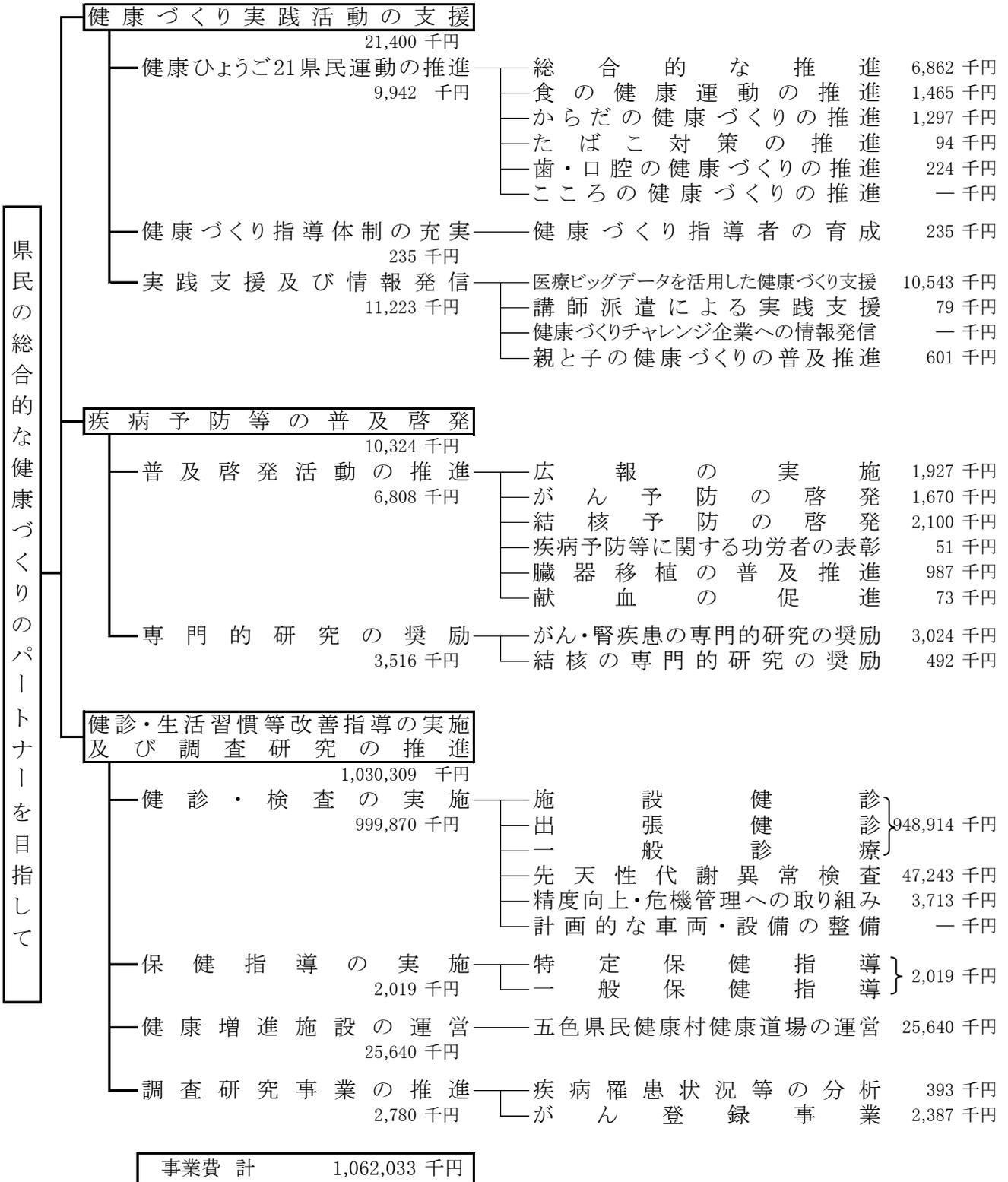
また、五色県民健康村健康道場においては、リピーター割引クーポン券の発行や年末年始営業等のほか、ホームページ等を活用して広く広報を行い、県民のこころと身体健康づくりを支援する実践施設として利用促進を図った。

さらに、公益財団法人として県内の公衆衛生の向上に寄与するため、健診や生活習慣改善指導事業等の実施状況及び精密検査受診者の追跡調査により得られたデータを集計し、「事業年報」として情報発信するとともに、県内のがん罹患情報を収集し、兵庫県のがん予防対策の基礎資料として活用を図った。

加えて、健診事業等の実施にあたっては、実施体制の見直しによるコスト削減や医療資源の効率的活用を推進し、競争力の強化を図るとともに、涉外計画に基づき顧客の確保に努め、経営改善に取り組んだ。

平成30年度事業体系

(人件費・減価償却費を除く)



I 健康づくり実践活動の支援

1 健康ひょうご 21 県民運動の推進

(1) 総合的な推進

① 健康ひょうご 21 県民運動推進会議総会等の開催（県補助事業）

全県の参画団体が一堂に会し、重点活動目標や事業計画を決定するとともに、健康づくりの普及・実践を促進するため、健康ひょうご 21 県民運動推進会議総会を開催した。

また、全県の事業実施状況を共有し、次年度の目標等を検討するため各都会長及び各地域会議会長等を構成メンバーとする合同会議を開催した。

総 会 : 平成 30 年 5 月 31 日（木）

合同会議 : 平成 31 年 3 月 7 日（木）

② 健康ひょうご 21 県民運動推進フォーラムの開催

全県の参画団体を含め広く県民に参加を呼びかけ、県民行動指標を確認し、健康づくりの普及・実践を促進するため、健康ひょうご 21 県民運動推進フォーラムを開催した。

開催日・場所	内 容	参加人数
5 月 31 日（木） 兵庫県看護協会 ハーモニーホール	・健康づくり等に関する表彰 ・健康ひょうご 21 県民運動について ・講演 「“脱” 座りすぎ生活 ーそれでもあなたは座り続けますか？ー」 講師 早稲田大学スポーツ科学学術院教授 岡 浩一朗 氏	349 人

③ 健康ひょうご 21 県民運動地域会議の開催（県補助事業）

地域の課題に応じた重点活動目標や事業計画を決定するとともに、地域における健康づくりの普及・実践を促進するため、各地域で健康ひょうご 21 県民運動地域会議総会及び講演会等を開催した。

地 域	開催日・場所	講演会等の内容	参加人数
阪神南	7 月 19 日（木） 尼崎商工会議所	「今日から始めるアクティブライフ」	127 人
阪神北	6 月 28 日（木） 東りいたみホール	「認知症を予防しよう」	129 人
東播磨	7 月 12 日（木） 明石市生涯学習センター	「食べ物が教えてくれること」	137 人
北播磨	7 月 4 日（水） 小野市うるおい交流館エクラ	「胃がんを防ぐためには？ ーピロリ菌の除去で胃がん撲滅をー」	155 人

地 域	開催日・場所	講演会等の内容	参加人数
中播磨	7月19日(木) 姫路市医師会館	「少子高齢（化）時代の処方箋」	127人
西播磨	7月3日(火) 西播磨文化会館	「からだの健康お口から ～お口の機能を高めるために～」	145人
但馬	6月28日(木) 県立但馬長寿の郷	「高齢者におけるフレイル(虚弱)の要因とその対策」 ～健康寿命の延伸のために～」	85人
丹波	7月5日(木) 丹波の森公苑	「健康長寿を目指す食べ方 ～食べる順番と食べるタイミングとは？」	113人
淡路	7月5日(木) 洲本総合庁舎	「危機管理は健康管理 －災害時の食を考えよう」	91人
計			1,109人

④ 健康づくり推進員の設置・養成（県補助事業）

ア 健康づくり推進員の設置・養成

健康づくりの担い手を養成するため、県民運動参画団体から推薦を受けた人を対象に各地域で研修会を9回開催し、その修了者に健康づくり推進員（健康ひょうご21県民運動推進員・8020運動推進員、食の健康運動リーダー）を委嘱した。

区 分	人数(H31.4.1 現在)	うち新任者数
県民運動推進員・8020運動推進員	1,954人	228人
食の健康運動リーダー	956人	73人

イ 健康づくり推進員フォローアップ研修会等の開催

健康づくり推進員の資質向上を図るとともに、活動に関する意見交換や推進員相互の交流を促進するため、推進会議、各地域会議において、フォローアップ研修会等を開催した。

区 分	開催回数	参加人数
推進会議	3回	504人
地域会議	10回	777人

ウ 健康づくり推進員による実践活動

健康づくり推進員を中心として地域における健康づくりの普及や実践活動を展開したほか、幼児の保護者等に対する調理実習、“食の健康”運動キャンペーンへの協力など、食の健康運動の推進活動を行った。

区 分	取組件数	延参加人数
県民運動推進員・8020運動推進員	31,111件	592,893人
食の健康運動リーダー	3,525件	125,258人

エ 健康づくり推進員の活動支援

県民運動の概要、取組事例、健康情報の紹介とともに、日頃の健康チェック及び健康づくり活動について記録ができる「健康づくり推進員活動支援ガイド」を活用し、健康づくり推進員の活動の支援と活性化を図った。

⑤ 参画団体の活動支援

ア 健康マイプラン実践講座（県補助事業）

県民運動参画団体等が実施する健康づくりの講演会や研修会等に登録講師（専門人材）を派遣し、参画団体等における健康づくりの実践を支援した。

派遣回数	参加人数
68回	6,593人

※（6）こころの健康づくりの推進に係る実践講座を含む。

イ 実践活動等の促進

県民運動参画団体等が行う有意義な健康づくり実践活動に助成し、地域における県民の健康づくりの実践を支援した。

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	計
件数	3	5	4	5	1	4	1	1	3	27
助成額 (千円)	101	179	175	154	28	144	33	40	150	1,004

⑥ 健康づくり情報の発信

参画団体や健康づくり推進員の実践活動、健康づくりに関する情報等を財団広報誌「プレベ」に掲載し、参画団体等の活動を支援したほか、9地域会議の活動等の情報を支部だよりで発信した。

また、健康ひょうご21県民運動のポータルサイト内に、「県民運動のひろば」を開設し、参画団体や健康づくり推進員の健康づくりの取組みを紹介するとともに、健康長寿食や健康体操等健康づくりに関する実践方法やスマートフォン等で利用できる健康チェックツールの活用等の情報提供を行った。

(2) 食の健康運動の推進

① 食の健康運動リーダーの設置

推進員の中から「食の健康運動リーダー」を委嘱し、食の健康運動を推進した。

② 食生活改善事業の実施

ア ヘルシー弁当キャラバン

働き盛り世代の昼食改善による健康づくりを目的に、希望する県内企業の従業員を対象に、ヘルシー弁当を用いたランチセミナーを実施した。

実施企業等	実施日	参加人数	内 容
篠山市 A 団体	12月17日(月)	23人	エネルギー、食塩、野菜量などを調整したヘルシー弁当を喫食しながら、管理栄養士が、バランスのよい食事について講話を行った。
たつの市 B 社	2月8日(金)	34人	
神戸市 C 健保	3月11日(月)	30人	
上郡町 D 法人	3月26日(火)	41人	
計		128人	

イ 健康づくり推進員の食塩摂取量の測定（健康チェック）

健康づくり推進員の健康チェックの一環として、食塩摂取量等の測定を実施した。

会 場	実施日	参加人数
但馬	10月18日(木)	3人
姫路	10月30日(火)	9人
西宮	11月16日(金)	5人
三田	11月27日(火)	4人
神戸	12月13日(木)	3人
計		24人

③ 食育コンサートの開催

県内各地域で幼稚園・保育所等の幼児や保護者等を対象に、「大豆のうた」や踊り、クイズ等を通じて、早寝早起き、朝食の摂取による規則正しい食生活やバランスのとれた食事の大切さ、栄養源の豊富な野菜や大豆の摂取などを啓発した。

加えて、新たに歯みがき指導を取り入れ、幼児、保護者、保育関係者へ歯・口腔の健康づくりについての普及・啓発を行った。

地域	開 催 日	実 施 団 体	参加（人）		
			幼児等	保護者等	合 計
神 戸	11月1日(木)	神戸市立 魚崎幼稚園	97	19	116
阪神北	9月7日(金)	学校法人木本学園野上幼稚園	154	12	166
	10月15日(月)	学校法人西野学園緑台幼稚園	183	42	225
東播磨	11月30日(金)	明石市立二見西幼稚園	80	13	93
北播磨	11月15日(木)	加西市立日吉幼児園	60	13	73
中播磨	11月26日(月)	神河町幼稚園	98	118	216
西播磨	11月2日(金)	認定こども園まあや学園	135	28	163
但 馬	10月30日(火)	認定こども園照福こども園	139	25	164
丹 波	9月6日(木)	春日子育て学習センター	224	66	290
淡 路	10月17日(水)	洲本市立幼稚園	110	44	154
計	10回		1,280	380	1,660

(3) からだの健康づくりの推進（県補助事業）

メタボリックシンドロームやロコモティブシンドロームの予防を目指し、運動の実践と習慣化を促進するための学習会を開催し、今より10分多く毎日からだを動かす+10分（プラス・テン）、「“脱” 座り過ぎ生活」の啓発等を図り、からだの健康づくりを推進した。

学習会開催回数	参加人数
33回	3,191人

(4) たばこ対策の推進

「受動喫煙の防止等に関する条例」の趣旨を踏まえ、広報資材の配布、研修会等を通じて、たばこによる健康への悪影響、COPDなどの啓発、妊産婦や未成年の喫煙防止等を推進した。

研修会開催回数	参加人数
12回	995人

(5) 歯・口腔の健康づくりの推進（県委託事業）

8020運動推進員による啓発活動をはじめ、各種講演会や啓発資材の配布等を通じて、乳幼児期・学齢期・成人期・高齢期のう蝕予防、歯周病予防、歯の喪失防止に向けた8020運動を推進した。

また、8020運動推進員の資質向上を図るため、研修会を開催した。

研修会開催回数	参加人数
10回	586人

(6) こころの健康づくりの推進

健康フォーラムの開催や健康マイプラン実践講座の実施等により、笑いや認知症予防などのこころの健康づくりを推進した。

実践講座等実施回数	参加人数
14回	1,104人

2 健康づくり指導体制の充実

(1) 健康づくり指導者の育成

① 健康運動指導士等専門技術者の資質向上

健康運動指導士、健康運動実践指導者等の健康づくり支援に携わる専門職に対し、資質向上及び資格更新に必要な知識、技術の習得を図るため、登録更新研修会を開催した。

開催日・場所	テーマ・内容	参加人数
8月26日(日) 健康財団	メインテーマ 「中高年のための筋力トレーニングとコンディショニング」 講義・実技 「筋力トレーニングの理論」「ヨガを活用したコンディショニングの方法」 「筋力トレーニングの実際と応用」「ヨガを活用したコンディショニングの実際」	22人

② 健康づくり支援者の育成

保健師、管理栄養士、健康運動指導士等の健康づくり指導者や介護分野等で健康づくり支援に携わる専門職等の資質向上を図るため、身体活動（生活活動、運動）指導を中心とした最新の知識・技術を提供するスキルアップ研修会を開催した。

開催日・場所	テーマ・内容	参加人数
1月12日(土) 健康財団	メインテーマ 「座位行動研究の最前線と今後の身体活動指導」 講義 「座位行動研究の最前線」 「加齢に伴う内部障害 ーリスクと対応ー」 実技・実習 「“脱” 座りすぎ生活への取組み」 「身体機能・体力の簡単な測定法や身体活動促進法」	24人

3 実践支援及び情報発信

(1) 医療ビッグデータを活用した健康づくり支援（県委託事業）

地域の状況に応じた健康づくり施策、企業等の「健康経営」の推進に資するとともに、個人の将来の健康リスクを示して生活習慣病の予防に向けた生活改善を提示するなど、県民の健康寿命の延伸を目指すことを目的に、厚生労働省のナショナルデータベース（NDB）を活用し、全県、市町、企業等の健康課題を抽出する「ひょうご健康づくり支援システム」のプログラム開発を行った。

(2) 講師派遣による実践支援

市町、地域団体、事業所等が実施する健康づくり教室、イベント等に、当財団の専門スタッフ(保健師、健康運動指導士、管理栄養士、臨床心理士等)を講師として派遣し、講演や実技指導を実施した。

派遣回数	指導延人数
44回	2,848人

(3) 健康づくりチャレンジ企業への情報発信

積極的に従業員や家族の健康づくりに取り組もうとする「健康づくりチャレンジ企業」に対し、兵庫県と締結した「健康づくり応援協定（健康づくり推進

サポート企業)」に基づき、メールマガジンの定期発行や財団ホームページでの健康情報の提供を行った。

・メールマガジンの発行

12回

(4) 親と子の健康づくりの普及推進（母子衛生研究会委託事業）

妊娠、出産、育児等に関する知識と実践の普及を図るため、主に初めて子どもを持つ夫婦を対象に、西宮市との共催により育児セミナーを開催した。

開催日	場 所	参加組数
6月24日(日)	なるお文化ホール	196組
9月29日(土)	アミティホール	194組
1月19日(土)	なるお文化ホール	122組
3月24日(日)		178組
合 計 4回		690組

II 疾病予防等の普及啓発

1 普及啓発活動の推進

(1) 広報の実施

① 広報誌「プレベ」の発行

健康づくりに関する情報等の発信や財団事業を効果的に広報するため、広報誌「プレベ」を作成し、関係機関を通じ広く県民に配布した。

・発行時期 9月・3月（計2回）

・発行部数 22,000部

・配布先 行政機関、健診顧客、健康ひょうご21県民運動参画団体及び県民運動推進員、関連イベント参加者、神戸市営地下鉄各駅等

② 団体の会報、広報紙等への情報提供

医療保険者等が発行する会報や広報誌に健康に関する情報を定期的に掲載することにより、県民の健康づくりを支援した。

・団体数 4団体

・掲載回数 延べ14回

③ 健康づくり関連イベント等への参画

各種団体等が実施するイベントに参画し、健康づくり等の普及・啓発に取り組んだ。

実施日	イベント名	主催	会場	内容
10月4日 (木)	兵庫県生協大会	兵庫県生活協 同組合連合会	県民会館	結核予防の普及啓発 がん検診の受診勧奨
10月11日 (木)	阪神シニアレジャ [®] 祭	阪神シニアレジャ [®]	宝塚リホール	結核予防の普及啓発 がん予防の普及啓発
11月17日 (土)	いなみ野祭	兵庫県いなみ野 学園	兵庫県いなみ野 学園	結核予防の普及啓発 がん予防の普及啓発

④ ホームページによる情報発信

人間ドックメニューの紹介や講演会等のイベント開催、健康コラムの掲載等、財団の事業内容や健康づくりに役立つ情報を発信した。

(2) がん予防の啓発

① がん征圧月間行事の実施

がん征圧月間（9月）の期間中、がん予防について広く県民に意識啓発を行った。

ア ポスターによる普及啓発

日本対がん協会が作成した「がん征圧月間ポスター」を行政機関、医療関係団体等に配布した。（配布部数 160部）

イ 横断幕・懸垂幕等の掲示

兵庫県庁及び財団荒田事務所において横断幕・懸垂幕を掲示し、征圧月間の周知を図った。

ウ がん予防セミナーの開催

がんについての正しい知識の普及、早期発見及び早期治療の認識を高めるため、セミナーを開催した。

開催日・場所	内容	参加人数
9月21日(金) 神戸ポートピアホテル	講演「人はがんとどう向き合うか？」 公益財団法人日本対がん協会会長 垣添 忠生 氏	329人

※ 結核予防セミナーと併催

② がん・生活習慣病講演会の開催

生活習慣病予防に関する理解を深めるとともに、健康づくりの意識を高めるため、講演会を開催した。

開催日・場所	内容	参加人数
2月14日(木) 兵庫県医師会館	・講演「認知症予防～認知機能の維持改善は生活習慣から～」 神戸学院大学特命教授／神戸大学名誉教授 前田 潔 氏 ・講演「がんの時代を生き抜くために」 静岡県立静岡がんセンター総長／厚生労働省がん対策推進協議会会長 山口 建 氏	380人

③ がん征圧寄附金募金活動等による普及啓発

がん予防のための普及・啓発活動や、若手研究者へのがん研究助成の原資とするための寄附金を募るとともに、同活動を通じてがん検診の受診勧奨などの啓発活動を展開した。

件数	金額
80件	1,060,081円

④ がん検診啓発及びがん患者支援の実施

乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝える「ピンクリボンフェスティバル」やがん患者支援・がん検診啓発チャリティーイベント「リレー・フォー・ライフ」に参画し、その活動を支援した。

実施日	イベント名	主催	会場	内容
6月9日(土)～10日(日)	リレー・フォー・ライフ・ジャパン 神戸 2018	リレー・フォー・ライフ神戸実行委員会、日本対がん協会	神戸市みなとのもり公園	がん啓発講演会 サバイバーウォーク がん予防普及啓発
9月1日(土)～2日(日)	リレー・フォー・ライフ・ジャパン 芦屋 2018	リレー・フォー・ライフ芦屋実行委員会、日本対がん協会	芦屋市川西運動場	がん啓発講演会 サバイバーウォーク がん予防普及啓発
10月8日(祝・月)	ピンクリボンスマイルウォーク 2018 神戸	日本対がん協会	神戸ハーバーランド [®] スペースシアター	乳がん自己検診法の啓発募金活動

(3) 結核予防の啓発

① 結核予防週間行事の実施

結核予防週間(9月24日～30日)の期間中、結核予防について広く県民に意識啓発を行った。

ア ポスター等による普及啓発

結核予防会が作成したポスターやパンフレット等を婦人会、医療機関、地方公共団体等に配布したほか、神戸市営地下鉄全26駅構内に「結核予防週間ポスター」を掲示した。

媒体	内容	配布部数
ポスター	結核予防週間	800部
パンフレット	結核の常識 2018	12,000部
結核予防会機関誌「複十字」(年6回)		1,860部

イ 横断幕・懸垂幕等の掲示

兵庫県庁及び財団荒田事務所において、横断幕・懸垂幕を掲示し、予防週間の周知を図った。

また、新たにWEBバナー広告を活用した啓発も行った。

ウ 街頭活動

兵庫県連合婦人会等と協力して街頭活動を行い、複十字シールなどの啓発資材を配布した。

実施日	場 所
9月27日(木)	JR 姫路駅周辺

エ 結核予防セミナーの開催

結核についての正しい知識の普及を図るため、セミナーを開催した。

開催日・場所	内 容	参加人数
9月21日(金) 神戸ポートピアホテル	講演 「いまだ終わらない結核 ～予防と治療の大切なポイント～」 兵庫県健康福祉部参事兼疾病対策課長 山下 輝夫 氏	329人 (再掲)

※ がん予防セミナーと併催

② 複十字シール運動募金活動等による普及啓発

兵庫県連合婦人会等関係団体の支援を得て、結核の制圧及びその他胸部疾患の予防に向けて、その活動に必要な資金を確保するための募金活動及び公益財団法人結核予防会が実施する複十字シール運動募金活動を通じて結核等に対する理解を深める啓発活動を展開した。

件 数	金 額
509件	1,837,784円

(参考: 上記以外の(公財)結核予防会への複十字シール運動募金 141件 1,261,927円)

③ 出版物の斡旋

結核に関する正しい知識の普及を図るため、結核予防会発行の各種専門図書を保健所、病院、個人等に広く斡旋した。

・斡旋数 21種類 870冊

(4) 疾病予防等に関する功労者の表彰

多年にわたり、公衆衛生の向上に資する事業の推進に貢献し、その功績が顕著な個人、団体を表彰した。

① がん予防功労者

氏 名	職 種	推薦団体
川嶋 雅也	臨床検査技師	兵庫県臨床検査技師会
合田 潔	医 師	宝塚市医師会
志水 孝久	医 師	西宮市医師会
中山 康弘	医 師	尼崎市医師会
堀田 衛	医 師	たつの市・揖保郡医師会

② 結核予防功労者

氏名	職種	推薦団体
鍵岡 朗	医師	加東健康福祉事務所
藤末 龍	医師	たつの市・揖保郡医師会

③ 健康づくり功労者

〔個人〕

氏名	職種	推薦団体
池谷 明美	一般	たつの市母子・健康推進委員会
岩本 温子	一般	尼崎市健康増進すみれ会
上野 樹世	管理栄養士	兵庫県栄養士会
内田 勇人	大学教授	健康ひょうご 21 県民運動中播磨会議
須山 徹	医師	芦屋市医師会
田邊 誠	医師	加古川市医師会
西垣 友子	歯科衛生士	朝来健康福祉事務所
松本 眞一郎	医師	姫路市医師会
森岡 佳樹	歯科医師	兵庫県歯科医師会
八木 和子	一般	兵庫県連合婦人会

〔団体〕

団体名	推薦団体
尼崎市囃むカム倶楽部	尼崎市健康福祉局

④ 母子保健功労者

氏名	職種	推薦団体
會田 道夫	医師	尼崎市医師会
長井 順子	助産師	朝来市
堀 初枝	一般	たつの市

(5) 臓器移植の推進

① 臓器移植の普及(県補助事業)

臓器提供意思表示の普及を促すため、啓発資料を作成・配布した。

② いのちの勉強会の開催(県補助事業)

臓器移植医療に関する正しい知識の普及・啓発を行い、臓器移植の一層の定着・推進を図るため、臓器移植普及推進月間（10月）に兵庫県との共催により、「いのちの勉強会」を開催した。

① がん研究奨励賞（総額 250 万円）

氏名	所属	研究題目
神田 修治	兵庫医科大学	放射線照射後の再発口腔癌に対する再照射を目指した in vitro,in vivo モデルの作製
堂國 良太	神戸大学大学院 医学研究科	非小細胞肺癌におけるスフィンゴ脂質の役割
中西 保貴	兵庫医科大学病院	進行胃癌に対する腫瘍浸潤制御性T細胞を標的とした治療標的分子の探索
船越 洋平	神戸大学医学部 附属病院	免疫チェックポイント分子による骨髄由来免疫抑制細胞のがん免疫制御
三上 浩司	兵庫医科大学	造血細胞移植後のウイルス再活性化のメカニズム解明

※ 題目の「癌・がん」表記は申請原文のまま。

② 腎研究奨励賞（総額 50 万円）

氏名	所属	研究題目
南川 将吾	神戸大学大学院 医学系研究科	ネフローゼ症候群における尿中CD80 の診断マーカーとしての有用性の検討
渡邊 健太郎	神戸大学大学院 医学系研究科	非肥満2型糖尿病モデルラットにおける糖尿病性腎症の病態

(2) 結核の専門的研究の奨励

結核制圧に向けた体制づくりの進展に寄与するため、結核の予防や感染拡大防止等に関して有益な対策の研究を行うチーム等に奨励賞を贈呈した。

（総額 49 万 2 千円）

チーム名	研究題目
淡路圏域結核等感染対策推進 看護チーム	淡路圏域における看護職が取り組む結核等感染予防対策の推進について

Ⅲ 健診・生活習慣等改善指導の実施及び調査研究の推進

1 健診・検査の実施

(1) 施設健診

特定健康診査やがん検診をはじめ、学校保健安全法、労働安全衛生法等に基づく健康診断のほか、口腔健診を組み込んだ人間ドックコースの充実を図るなど、多様化する受診者ニーズに応じた人間ドックを実施し、県民の生活習慣病の予防及び早期発見を支援した。

健 診 種 別		平成 30 年度 (件)	平成 29 年度 (件)	対前年度比 (%)	
集団 検診	学 校 健 診	1,223	1,457	83.9%	
	住 民 健 診	702	786	89.3%	
	事業所健診	一般健康診断(就学・就職)	659	761	86.6%
		定 期 健 康 診 断 等	15,257	14,675	104.0%
	小 計	17,841	17,679	100.9%	
人間 ドック	1泊2日人間ドック	99	168	58.9%	
	半日人間ドック	5,781	5,629	102.7%	
	兵庫県2時間人間ドック	413	305	135.4%	
	脳ドック [再掲]	(314)	(258)	121.7%	
	P E T 検 診 [再掲]	(20)	(17)	117.6%	
	胃内視鏡検査 [再掲]	(3,194)	(3,151)	101.4%	
	乳腺超音波検査 [再掲]	(2,892)	(2,256)	128.2%	
	口 腔 健 診 [再掲]	(116)	(155)	74.8%	
	レディースドック [再掲]	(641)	(584)	109.8%	
	全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診	8,574	8,123	105.6%	
一 般 健 診	(8,223)	(7,794)	105.5%		
一 般 健 診 + 付 加 健 診	(351)	(329)	106.7%		
小 計	14,867	14,225	104.5%		
ス ト レ ス チ ェ ッ ク	1,218	1,082	112.6%		
合 計	33,926	32,986	102.8%		

注 1)脳ドック、P E T 検診、胃内視鏡検査、乳腺超音波検査、口腔健診は、人間ドックの各コースの付加につき再掲

注 2)レディースドックは、女性専用日を利用した受診者で再掲

(2) 出張健診

市町や地元商工会議所・商工会との連携等により、事業所従業員や被扶養者をはじめ幅広い層を対象とした健診受診機会を提供するとともに、検査項目の追加などにより、質の高い健診を積極的に推進したほか、労働安全衛生法に基づくストレスチェックを兵庫県こころのケアセンターと連携して実施した。

また、健診日程の圧縮や検診車の効率的配車など、医療資源の効率的な活用を図り、運営改善に努めた。

① 学校健診

健診種別	平成30年度 (件)	平成29年度 (件)	対前年度比 (%)
結核検診	28,029	27,370	102.4
心臓検診	6,284	6,166	101.9
腎臓検診	21,732	20,699	105.0
診察・身体計測等	15,811	14,842	106.5
合計	71,856	69,077	104.0

② 住民健診

健診種別	平成30年度 (件)	平成29年度 (件)	対前年度比 (%)	
結核検診	75,277	77,040	97.7	
特定健康診査 (生活習慣病健診等を含む)	21,237	21,504	98.8	
心電図検査	(8,984)	(8,471)	106.1	
眼底検査	(7,782)	(6,911)	112.6	
貧血検査	(11,795)	(11,316)	104.2	
胃がん検診	29,107	30,444	95.6	
肺がん検診	71,127	72,977	97.5	
大腸がん検診	21,578	21,621	99.8	
子宮頸がん検診	14,917	15,252	97.8	
乳がん検診	視触診	2,064	2,113	97.7
	マンモグラフィ	10,588	10,787	98.2
前立腺がん検診	7,667	7,675	99.9	
骨粗鬆症検診	2,686	2,700	99.5	
肝炎検査	2,494	3,441	72.5	
腹部超音波検査	14,073	14,067	100.0	
合計	272,815	279,621	97.6	

③ 事業所健診

健診種別		平成30年度 (件)	平成29年度 (件)	対前年度比 (%)
定期健康診断		107,608	109,034	98.7
特定健康診査		1,653	1,759	94.0
全国健康保険協会管掌 健康保険生活習慣病予防健診		27,711	27,311	101.5
ストレスチェック		54,965	53,874	102.0
特殊健康診断		18,861	19,264	97.9
がん・ 追加 検診等	胃がん検診	37,768	38,357	98.5
	肺がん検診	17,215	17,735	97.1
	大腸がん検診	58,712	58,649	100.1
	子宮頸がん検診	1,798	1,598	112.5
	乳がん検診(マンモグラフィ)	1,538	1,540	99.9
	腹部超音波検査	11,112	11,875	93.6
合計		338,941	340,996	99.4

(3) 一般診療

診療科目	平成30年度(件)	平成29年度(件)	対前年度比(%)
内科・外科・放射線科	765	716	106.8

(4) 先天性代謝異常検査 (県委託事業)

検査種別	平成30年度(件)	平成29年度(件)	対前年度比(%)
代謝異常検査	28,697	30,178	95.1
TSH(クレチン症)検査	28,247	29,465	95.9

(5) 精度向上・危機管理への取り組み

① 健診精度の向上

ア 人材の育成・職員研修の実施

財団職員の資質の向上並びに正確な検査の実施と的確な判断能力の維持・向上を図るため、職員に対する研修会を実施した。

研修会名	回数	延参加人数
職員(全体)研修会・職種別分科会	2回	585人
但馬地区健診従事者研修会	1回	68人
医師研修会	1回	41人
日本消化器がん検診学会地方会(胃X線撮影技術研修)	10回	98人

イ 精度管理委員会の開催

胸部、胃部、マンモグラフィ検診の読影精度及び心電図の記録・判定技術の向上を図るため、財団で読影・判定業務に従事する医師を対象に専門委員会を開催し、検診実施状況報告及び画像症例検討等を行った。

開催日	内 容	参加人数
12月13日(木)	マンモグラフィ専門委員会	13人
2月7日(木)	胃部エックス線画像専門委員会	22人
2月27日(水)	生理機能検査(心電図)専門委員会	5人
2月28日(木)	胸部エックス線画像専門委員会	20人
合 計	4回	60人

ウ 外部精度管理評価の維持

県民に信頼される健診機関であるために、全国労働衛生団体連合会、日本医師会、結核予防会等による外部精度管理調査を定期的に受審し、精度の維持・向上を図るとともに、第三者機関による認定の維持に努めた。

【第三者機関による認定】

- ・人間ドック健診施設機能評価認定(日本人間ドック学会)
- ・労働衛生サービス機能評価認定
(全国労働衛生団体連合会労働衛生サービス機能評価委員会)
- ・日本消化器がん検診学会指導施設認定(日本消化器がん検診学会)
- ・マンモグラフィ検診施設画像認定(日本乳がん検診精度管理中央機構)
- ・日本臨床細胞学会施設認定(日本臨床細胞学会)
- ・人間ドック健診専門医研修施設認定(日本人間ドック学会)
- ・人間ドック健診施設保健指導実施施設認定(日本人間ドック学会)

② 危機管理体制の運用

受診者が安心して安全で良質な健診を受けられる環境を整えるため、リスクマネジメント推進会議等において、健診等に関する事故やヒヤリ・ハット事例を分析し、事故の未然防止・再発防止策を検討した。

名 称	構成員	内 容	開催回数
リスクマネジメント推進会議	課長等	・事故内容の分析 ・事故防止対策の検討・提案等	12回
リスクマネジメント実践担当者会議	担当職員	・事故防止対策の実行、教育の実施	12回

③ 情報処理体制の強化

健診結果等情報処理システムの適正な管理を行うことにより、効率的な事務処理に努めるとともに、迅速・正確かつ品質の高いサービスの提供に努めた。

④ プライバシーマーク認定の維持

セキュリティレベルの向上を図りつつ、個人情報の漏洩防止に組織的に取り組むことにより、個人情報保護に係る認定制度「プライバシーマーク」（一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC））認定の維持に努めた。

（有効期間：2018年3月14日～2020年3月13日）

(6) 計画的な車両・設備の整備

耐用年数等を考慮し策定した更新計画に基づく検診車及び医療機器等の更新整備により、健診精度の維持・向上を図った。

また、平成28年度に策定した長期修繕計画の最終年度として、荒田事務所の外壁タイル等の改修、健診フロアを中心とした内装改修などを行い、健康診断の受診環境並びに執務環境の改善を行った。

〔主な整備内容〕

- ・ 胸部デジタル X 線検診車・・・・・・・・・・ 1 台
- ・ 胸部デジタル X 線撮影装置（施設）・・ 1 台
- ・ 超音波診断装置・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 台
- ・ 眼底カメラ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 台
- ・ 心電計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 台
- ・ 全自動高圧蒸気滅菌機・・・・・・・・・・ 1 台
- ・ 健診補助車両・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 台

2 保健指導の実施

(1) 特定保健指導

特定健診の結果に基づき、生活習慣を改善し健康の保持に努める必要があるとされた者に対し、生活習慣改善のための行動目標、行動計画を設定し、健康に関するセルフケアができるよう継続的に支援する特定保健指導を実施した。

・ 支援別実施実人数

	平成 30 年度	平成 29 年度	対前年度比
動機付け支援	617 人	949 人	65.0%
積極的支援	425 人	457 人	93.0%
合 計	1,042 人	1,406 人	74.1%

※当該年度中に指導を開始した実人数を記載

(2) 一般保健指導

人間ドックの受診者に対し、生活習慣改善の必要性などについて保健指導を実施するとともに、精密検査対象者への受診勧奨等きめ細かなアドバイスを行

った。

また、健診結果に基づき、運動や食生活指導を希望する者に対して、健診事後指導や個別健康相談を行った。

	平成 30 年度	平成 29 年度	対前年度比
施設内事後指導	720 人	768 人	93.1%
出張型事後指導	4 団体/289 人	6 団体/630 人	45.9%

3 健康増進施設の運営

(1) 五色県民健康村健康道場の運営

① 絶食・低カロリー食療法コース（入所）

3泊4日から、7日間、11日間、16日間、20日間コースなど、入所者の希望に応じた日数設定を行い、個々のニーズや健康状態に合わせたサービスを提供した。

	平成 30 年度	平成 29 年度	対前年度比
利用者数	1,020 人	1,173 人	87.0%
延宿泊者数	6,168 人	6,980 人	88.4%
平均宿泊日数	6.0 日	6.0 日	—

② 生活習慣改善体験コース（日帰り）

県民が五色県民健康村健康道場を気軽に利用できる機会を提供するため、日帰りコースを実施した。

- ・内容 心身医学の講義、性格分析、丹田呼吸法
- ・利用者数 15 人（平成 29 年度 45 人）

③ 利用促進施策の実施

開設 30 周年記念事業の継続実施をはじめ、ホームページの活用やメール、ツイッター及びフェイスブック等による広報を行ったほか、年末・年始営業や期間割引の実施により、利用者の確保に努めた。

ア 30 周年記念事業の継続実施

(ア) インターネット健康大学

インターネットを活用した講義を開講し、「心身医学」を学ぶ機会を提供した。

(イ) リピーター割引クーポン券の発行

次回利用時に 30%割引となるクーポン券を 1 人につき 2 枚発行した。

- ・発行枚数 2,040 枚（平成 29 年度 2,346 枚）
- ・利用枚数 514 枚（平成 29 年度 451 枚）

(ウ) 学生割引の実施

学生を対象に利用料金の 50%割引を実施した。

- ・割引期間 4月、7月～9月、3月
- ・利用者数 14人（平成29年度 19人）

イ 年末・年始営業

- ・営業日 12月29日～翌年1月3日
- ・期間中の利用者数

区 分	平成30年度	平成29年度	前年度比
入所者数	42人	38人	110.5%
延宿泊者数	265人	258人	102.7%

※延宿泊者数は、上記期間の入所者が前後の期間に宿泊した日数を含む。

ウ 期間割引料金

- ・対象期間 11月1日～翌年1月31日（12月21日～翌年1月9日を除く）
- ・対象者 5人部屋の利用者
- ・割引額

区 分	通常料金	割引後料金	割引率
県内利用者	10,000円	7,000円	30.0%
県外利用者	10,300円		32.0%

- ・期間中の利用者数

区 分	平成30年度	平成29年度	前年度比
入所者数	98人	90人	108.9%
延宿泊者数	590人	553人	106.7%

※12月21日～翌年1月9日の通常料金期間の入所者含む。

4 調査研究事業の推進

(1) 疾病罹患状況等の分析

健診事業及び精密検査実施状況の追跡調査により得られたデータを集計し、がん検診等の実施状況、発見がんの状況等を事業年報により発信した。

- ・発行部数 500部
- ・配布先 行政機関、医療関係団体他

(2) がん登録事業（県委託事業）

① がん罹患情報等の収集・登録

県内の医療機関等からがん罹患情報等を収集し、兵庫県のがん予防対策の基礎資料として活用を図った。2016年（平成28年）診断症例からは、全国がん登録として実施している。

[地域がん登録]

- ・届出件数 10 件
- ・届出医療機関数 4 機関
- ・遡り調査登録件数 1,412 件

[全国がん登録]

- ・届出件数 61,718 件
- ・届出医療機関数 176 機関
- ・遡り調査登録件数 2,122 件
- ・住所異動調査登録件数 131 件

② 全国がん登録実務者研修会の開催

病院及び指定診療所において全国がん登録業務に従事する者を対象に、全国がん登録業務の円滑な推進を目的に「全国がん登録実務者研修会」を開催した。

実施日・場所	内 容	参加人数
8月29日(水) 神戸大学医学部会館 シスメックスホール	講演「全国がん登録の届出実務 ～具体的な症例に即した登録時のポイント～」 国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター 全国がん登録分析室長 柴田 亜希子 氏	195 人